

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1926
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.20, No.1 (1926. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19260101-0141

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

國の穀物收穫高が二倍すれば、二十袋の麥は前の十袋以下の價值に賣れ、五十オウンの絲は二十五オウン以下の價值に賣れるであらう」(小泉信三氏著、時事新報講義録、社會問題、二九五、六頁による)。交換價值の立場から、(イ)部分は全體に等し、例へば十袋の小麥は二十袋の小麥に等し。(ロ)部分は全體よりも大である、例へば十二袋の小麥は二十袋の小麥よりも大である。獨逸。マルクスの價值法則に従へば、商品は價值(彼に従へば社會的に必要なる勞働)通りに賣られる。(資本論第一卷參照)。此を方程式で表はせば

$$X(\text{小麥}) = Y(\text{鐵}) \dots\dots\dots (1)$$

「然るにマルクスの生産價格の説に従へば、例外的場合を除くの外、現實の商品交換比率は、その含有勞働量とは一致しないで、或はそれ以上或は其以下にあると云ふ。」(小泉信三氏著、價值論と社會主義二二三頁及び資本論第三卷、參照) 従て

$$X(\text{小麥}) = Y - Y'(\text{鐵}) \dots\dots\dots (2)$$

$$X(\text{小麥}) = Y + Y'(\text{鐵}) \dots\dots\dots (3)$$

社會科學の法則第二部第一則に従へば「部分は全體よりも小である」従て方程式(1)と(2)とは同時に成立し得ぬ。矛盾がある。但し第二部第二則の助を籍れば「部分は全體に等し」き故方程式(1)と(2)とは矛盾なく兩存し得る。

以上掲ぐる三つの例は凡て動的時間的歴史的經過を背景とする。動的時間歴史的なる背景を有する問題の解決に當つては、社會科學の法則は極めて有用である。

前號 目次

(第十九卷 第十二號)

(大正十四年十二月號)

労働者の企業資本参加 向井 鹿松

ラツサアルミロオドヘル

トス 小泉 信三

孫江二氏の社會主義 及川 恆忠

Johann Heinrich von Thünen の自然

實銀論に就いて 寺尾 琢磨

「國富論」以後 高橋誠一郎

理財學會記事

第十九卷後半總目次

●一冊定價金五拾錢 郵税金壹錢五厘
●半年分金貳圓九拾錢 郵税共
●一年分金五圓四拾錢

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正十四年七月廿一日印刷納本 每月一回一日發行
大正十五年一月一日發行

三田學會雜誌 第二卷 第一號
編輯者 江田 範保
發行所 東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾内
印刷者 金子 鐵五郎
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地 金子活版所

發賣元 東京市芝區三田貳丁目壹番地 丸善株式會社三田出張所
電話高輪 一九二六
●尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京三田芝 慶應義塾内 理財學會